



---

# CDステレオラジオ カセットレコーダー

---

## 取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の  
取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**  
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、  
いつでも見られるところに必ず保管してください。

## CSD-A500



# 警告

# 安全のために

この製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。  
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、  
煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



### 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



### 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

## 行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

# 目次

⚠ 警告・⚠ 注意 .....	4
-----------------	---

## ここだけ読んでも使えます

CDを聞く .....	8
ラジオを聞く .....	10
テープを聞く .....	12
録音する .....	14

## CDの再生

聞きたい部分を探す （サーチ） .....	16
繰り返し聞く （リピート演奏） .....	16
聞きたい曲を好きな順に聞く （プログラム演奏） .....	17

## ラジオ

放送局を記憶させる .....	18
記憶させた放送局を聞く （プリセット選局） .....	19
いつも聞く放送局を登録させて聞く （マイステーション） .....	19

## 音質

迫力ある重低音を楽しむ .....	20
-------------------	----

## タイマー

時計を合わせる .....	21
音楽やアラームで目覚める .....	22
音楽を聞きながら眠る .....	23

## 準備

電源を準備する .....	24
---------------	----

## その他

使用上のご注意 .....	26
故障かな?と思ったら .....	27
お手入れ .....	30
保証書とアフターサービス .....	31
主な仕様 .....	32
各部のなまえ .....	33
索引 .....	35

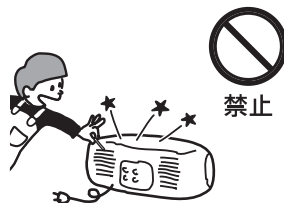


下記の注意事項を守らないと**火災・感電により死亡や大けが**の原因となります。

### 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。



### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに交換をご依頼ください。



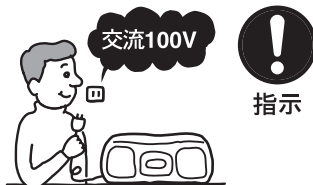
### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



### 海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



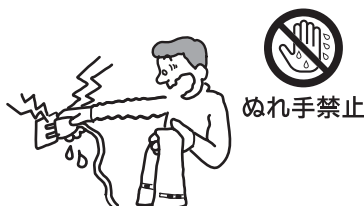
### 雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。



## ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



## 通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

## 内部を開けない

感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご依頼ください。



## 移動させるとき、長時間使わないときは、 電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを折りたたんでください。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。





# 注意

つづき

## お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

## 安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。



禁止

## 大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

## 幼児の手の届かない場所に置く

CDトレイなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



禁止

## 円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

# 電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

## 危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーサービス窓口またはアイワお客様ご相談センターにご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

## 警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

## 注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

## この取扱説明書について

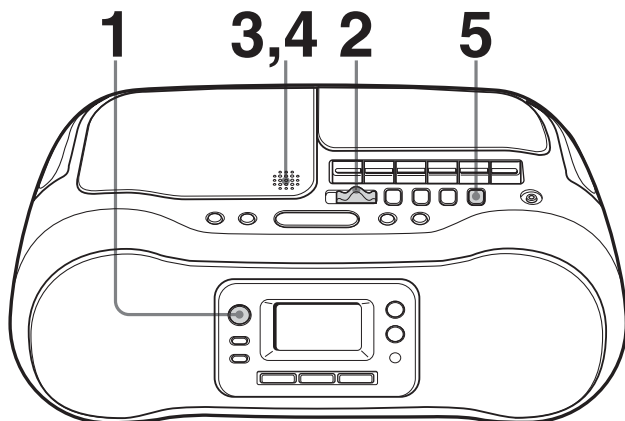
本書では、本体での操作を中心に説明しています。リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に明記してあります。

「各部のなまえ」(33、34ページ)も併せてご覧ください。

## 録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- CDステレオラジオカセットレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。

# CDを聞く



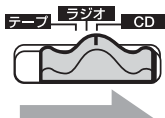
準備→電源コードを接続してください(24ページ参照)。

1



電源ボタンを押して電源を入れる。

2

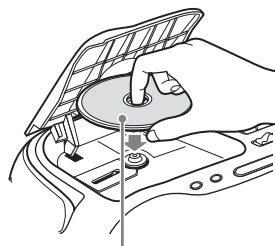


音源スイッチを「CD」の位置に合わせる。

3



「取り出し」部分を押して、CDぶたを開け、CDを入れる。

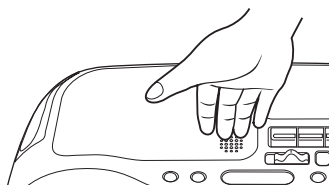


文字のある面を上

4



CDぶたを閉める。





# 5



▶||ボタンを押す。

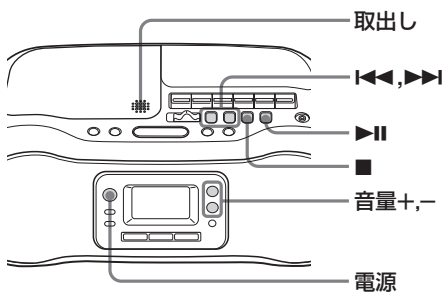
再生が始まります。

本体表示窓



ここだけ読んでも  
使えます

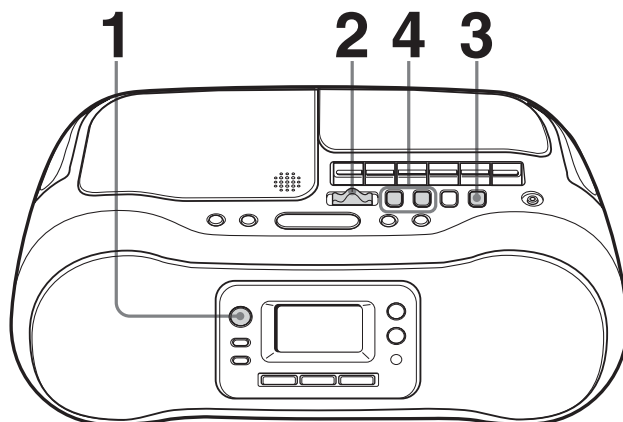
## その他の操作



こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量+*、-
再生を止める	■
再生中に一時停止する	▶  * もう一度押すと演奏が始まる。
曲の頭に戻す	<<<
次の曲へ進む	>>>
CDを取り出す	取出し
電源を入/切する	電源

\* ▶||ボタンと音量+ボタンには凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

# ラジオを聞く



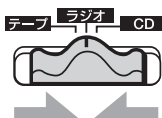
準備→電源コードを接続してください(24ページ参照)。

1



**電源ボタンを押して電源を入れる。**

2



**音源スイッチを「ラジオ」の位置に合わせる。**

3



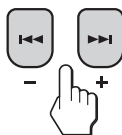
**バンド/オートプリセットボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。**

ボタンを押すたびに「FM」(テレビ音声受信時「1~3 ch」)、「AM」の間で切り換わります。

本体表示窓



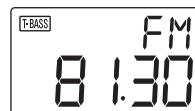
4



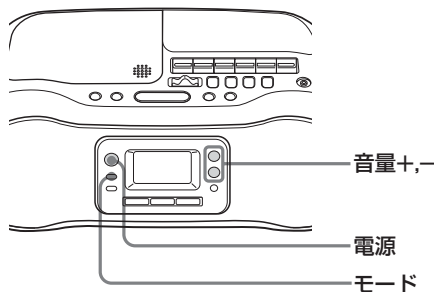
**–または+ボタンを押したままにし、数字が動き始めたら指を離す。**

放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかったときは、–または+ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせます。

本体表示窓



## その他の操作



### ちょっと一言

- 本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AM、テレビ（1～3 ch）のステレオ放送はモノラルになります。
- FMステレオ放送の雑音が多いときは、モードボタンを押して、表示窓に「Mo」を出します。音はモノラルになります。

### こんなときは

### 押すボタン

音量を調節する

音量+\*、-

電源を入/切する

電源

\* 音量+ボタンには凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

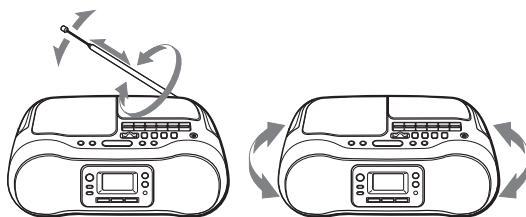
### 受信状態をよくする

**FM（テレビ1～3 ch）放送のときは**

ロッドアンテナを伸ばし向きを変える。

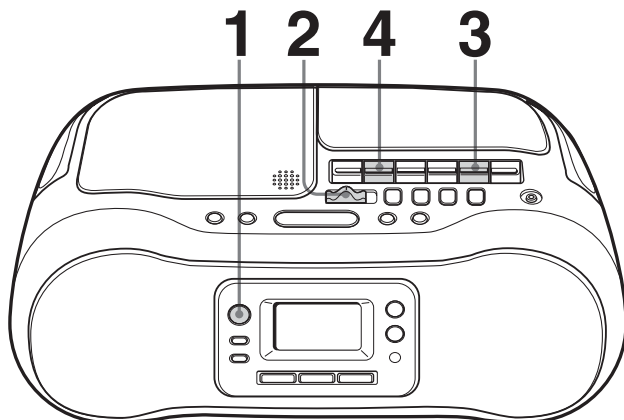
**AM放送のときは**

本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。



# テープを聞く

—TYPE I(ノーマル)テープ専用



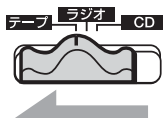
準備→電源コードを接続してください(24ページ参照)。

1



電源ボタンを押して電源を入れる。

2

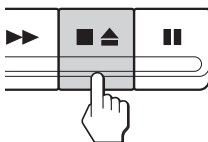


音源スイッチを「テープ」の位置に合わせる。

本体表示窓

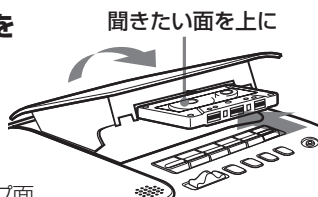


3

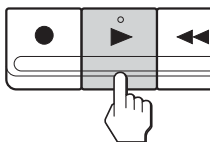


■△止める/取出すボタンを押してカセットぶたを開け、突きあたって止まるまでカセットを入れる。

カセットを入れるときは、テープ面をふれないように押してください。  
TYPE I (ノーマル)テープをお使いください。



4

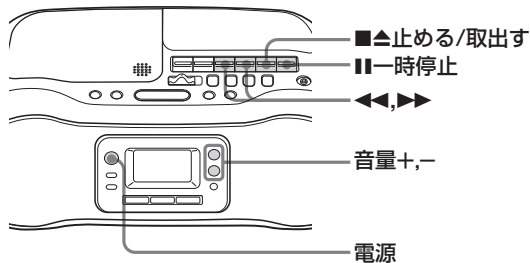


▶ 聞くボタンを押す。

再生が始まります。

ここだけ読んでも  
使えます

### その他の操作

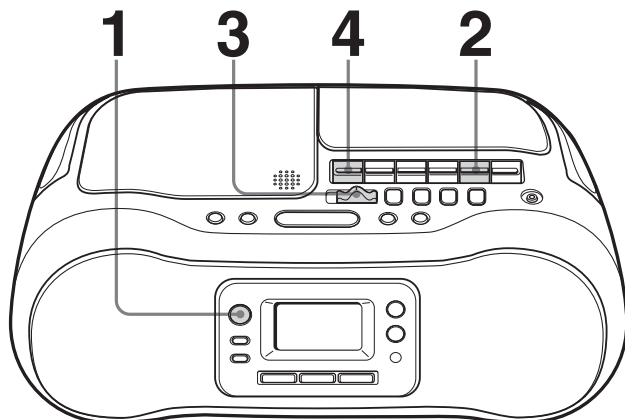


こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量+、-
再生を止める	■▲止める/取出す
早送りや巻戻しをする	◀◀または▶▶
再生中に一時停止する	一時停止 もう一度押すと演奏が始まる。
カセットを取り出す	■▲止める/取出す
電源を入/切する	電源

\* ▶聞くボタンと音量+ボタンには凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

# 録音する

—TYPE I(ノーマル)テープ専用



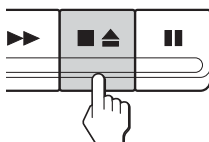
準備→電源コードを接続してください(24ページ参照)。

1



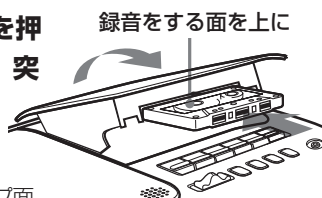
**電源ボタンを押して電源を入れる。**

2



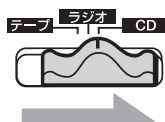
**■△止める/取出すボタンを押してカセットぶたを開け、突きあたって止まるまでカセットを入れる。**

カセットを入れるときは、テープ面をふれないように押してください。  
TYPE I (ノーマル)テープをお使いください。



# 3

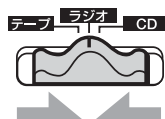
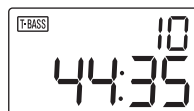
## 録音するものを選ぶ。



### CDを録音するとき

音源スイッチを「CD」の位置に合わせ、CDを入れる(8ページ参照)。

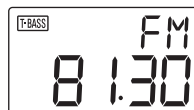
### 本体表示窓



### ラジオを録音するとき

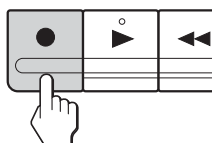
音源スイッチを「ラジオ」の位置に合わせ、録音する局を受信する(10ページ参照)。

### 本体表示窓



ここだけ読んでも使えます

# 4



## ●録るボタンを押す。

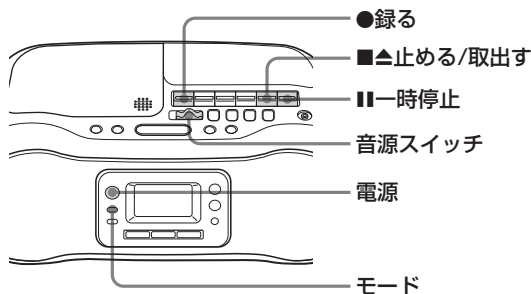
▶ 聞くボタンが同時に押され、録音が始まります。

(CDを録音するとき、録音が始まるまで、約8秒かかります。)

## ちょっと一言

- 録音中、音量や音質を変えても録音される音は変わりません。
- 録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。
- AM放送を録音するとき、手順4の●録るボタンを押したあととピーという雑音が出たら、モードボタンを押して雑音が消える「bEAT」表示を選んでください。
- 録音した音を消去するには1 音を消したいカセットを入れる。  
2 音源スイッチを「テープ」の位置に合わせる。  
3 ●録るボタンを押す。

## その他の操作



### こんなときは

### 押すボタン

録音を止める

■▲止める/取出す

録音を一時停止する

||一時停止  
もう一度押すと録音が始まる。

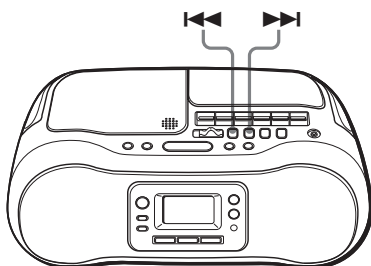
電源を入／切する

電源

## 聞きたい部分を探す

(サーチ)

CDの演奏中に、◀◀、▶▶ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すことができます。



探しかた	操作のしかた
聞きながら探す (サーチ)	演奏中に▶▶または◀◀ボタンを押したままにする。
表示窓の演奏時間を見ながら探す	一時停止中に▶▶または◀◀ボタンを押したままにする。

## 繰り返し聞く

(リピート演奏)

CDの全曲または1曲を繰り返し聞くことができます。プログラム演奏を繰り返すこともできます。



### 1 音源スイッチを「CD」の位置に合わせCDを入れる。

### 2 次の操作をする。

#### リピートの 押すボタン 種類

- |                        |   |
|------------------------|---|
| 1曲だけ繰り返し<br>返す         | 1 モードボタンを繰り返し<br>押して「□ 1」を表示さ<br>せる。<br>2 ◀◀または▶▶ボタンを<br>繰り返し押して曲を選<br>び、▶▶ボタンを押す。      |
| 全曲を繰り返し<br>返す          | 1 モードボタンを繰り返し<br>押して「□」を表示させ<br>る。<br>2 ▶▶ボタンを押す。                                       |
| プログラム<br>した曲順で<br>繰り返す | 1 停止中にモードボタンを<br>押して「□」と「PROG」<br>を表示させる。<br>2 プログラムする(17ペー<br>ジの手順3参照)。<br>3 ▶▶ボタンを押す。 |

### リピート再生をやめるには

モードボタンを押して「□」表示を消します。



# 聞きたい曲を好きな順に聞く (プログラム演奏)

聞きたい曲を聞きたい順に30曲までプログラムすることができます。

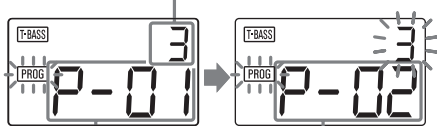


**1** 音源スイッチを「CD」の位置に合わせCDを入れる。

**2** 停止中にモードボタンを繰り返し押して、「PROG」を表示させる。

**3** ◀◀または▶▶ボタンを押して曲番を選び、■セットボタンを押す。

選んだ曲番



プログラムでの曲順    プログラムでの次の曲順

選んだ曲番とプログラムでの曲順を数秒間表示したあと、次のプログラム画面に変わります。

この操作を繰り返します。

**4** ▶||ボタンを押す。

プログラムした順に再生が始まります。

**プログラム演奏をやめるには**

停止中にモードボタンを押して「PROG」表示を消します。

**曲順を確認するには**

停止中に、◀◀、▶▶ボタンを押します。押すたびに、プログラムした順で曲番が表示されます。

**プログラムを変更するには**

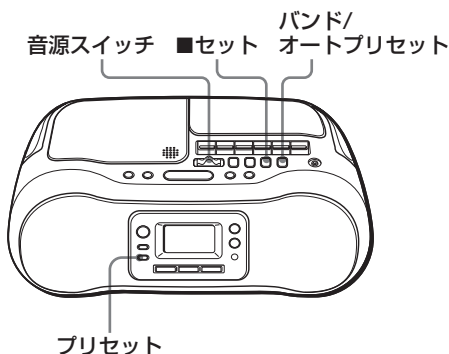
CDぶたをあけたり、音源を変更したりして現在のプログラムの内容を消してから、プログラムし直します。

ちょっと一言

- プログラム演奏が終わっても、作ったプログラムは残っています。▶||ボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。CDぶたをあけたり、音源を変更したりするとプログラムの内容は消えます。
- プログラム演奏を録音するには、プログラムを作ってから、録音用力セットを入れ、●録るボタンを押して録音を始めます。

## 放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。FM20局、AM10局で、合計30局まで記憶できます。



**1** 音源スイッチを「ラジオ」の位置に合わせる。

**2** バンド/オートプリセットボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

**3** 「Auto」が点滅するまでバンド/オートプリセットボタンを押したままにする。

**4** ■セットボタンを押す。

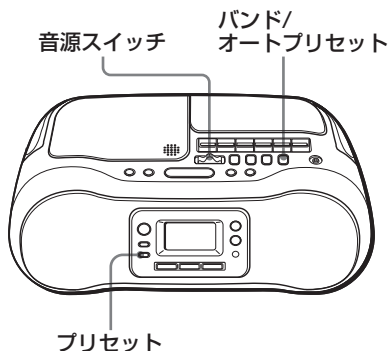
プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局が自動的に記憶されます。

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった放送局があるときや、特定のプリセット番号に記憶させたいときは

- 1** 音源スイッチを「ラジオ」の位置に合わせる。
- 2** バンド/オートプリセットボタンを押して、FM、またはAMを選ぶ。
- 3** 記憶させたい放送局を受信する。
- 4** プリセットボタンを約2秒間押したままにする。
- 5** プリセットボタンを繰り返し押して、記憶させたいプリセット番号を選ぶ。
- 6** ■セットボタンを押す。  
新しい局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

## 記憶させた放送局を 聞く(プリセット選局)

あらかじめ記憶させておいた放送局を、簡単に選ぶことができます。



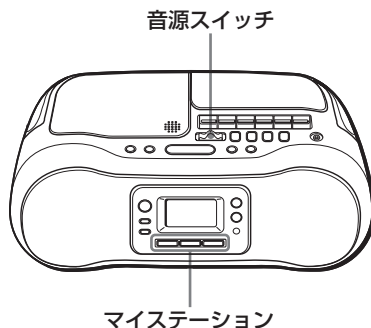
- 1 音源スイッチを「ラジオ」に合わせる。
- 2 バンド/オートプリセットボタンを押して、FM、またはAMを選ぶ。
- 3 プリセットボタンを繰り返し押して聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。

リモコンでは

- 1 バンドボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。
- 2 プリセット+、-ボタンを押す。

## いつも聞く放送局を登 録させて聞く(マイステーション)

よく聞く放送局を3局まで、マイステーションに登録することができます。  
マイステーションに登録すれば、ワンタッチで放送局を受信することができます。



### 放送局を登録する

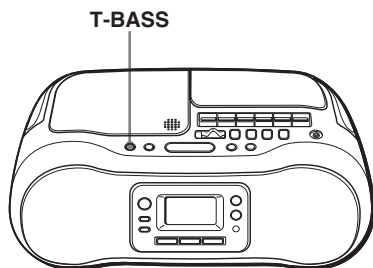
- 1 音源スイッチを「ラジオ」に合わせる。
- 2 登録したい放送局を受信する。
- 3 マイステーションボタン(3つのうちの1つ)を2秒以上押す。  
放送局が登録されます。  
リモコンのマイステーションボタンを押しても、登録はできません。

### 放送局を受信する

- 1 音源スイッチを「ラジオ」に合わせる。
- 2 マイステーションボタン(3つのうちの1つ)を押す。  
リモコンではマイステーションボタンを繰り返し押し、1、2、3のいずれかを選びます。

# 迫力ある重低音を楽しむ

重低音を強調することができます。



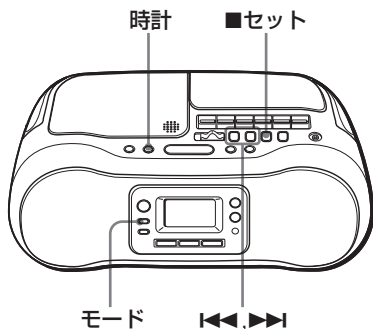
**T-BASSボタンを押す。**

「T-BASS」が表示されます。

通常の音質に戻すには、もう一度T-BASSボタンを押します。

# 時計を合わせる

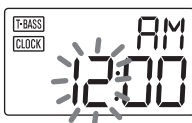
本機の時計は、時刻を合わせるまで表示窓で時計が点滅しています。



## 操作の前に

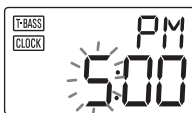
電源の準備をしてください(24ページ参照)。

## 1 「時」が点滅するまで時計ボタンを押したままにする。



## 2 時刻を合わせる。

- ① I◀◀, ▶▶I ボタンを押して「時」を合わせ、■セットボタンを押す。



- ② I◀◀, ▶▶I ボタンを押して「分」を合わせる。



## 3 ■セットボタンを押す

「00」秒から時計が動き出します。

電源が入っているときに時計を見るには時計ボタンを押します。もう一度押すと通常の表示に戻ります。

## 24時間表示にするには

上記手順の1から3でモードボタンを押します。

もう一度押すと、12時間表示に戻ります。

## 時計表示が点滅しているときは

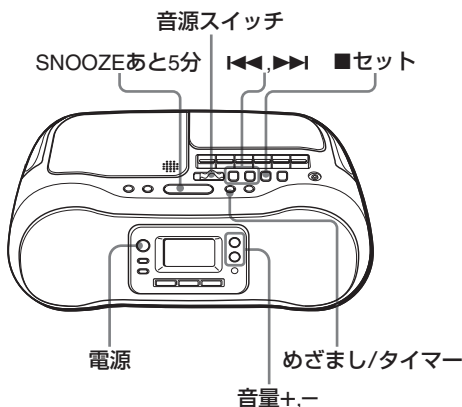
停電などで時計が止まっていたことを示しています。時計を合わせなおしてください。

## ちょっと一言

- 本機の時計は12時間表示です。  
真夜中：「AM12:00」  
正午：「PM12:00」
- 秒まで正確に合わせるには、時報サービス(117番)をご利用になると便利です。

# 音楽やアラームで目覚める

好きな音楽やラジオ番組またはアラーム音を目覚まし代わりにすることができます。本機の時計合わせをしてから操作してください（21ページ参照）。



## 1 電源ボタンを押して電源を入れる。

## 2 聞きたい音源の準備をする。

音源	準備
CD	音源スイッチを「CD」の位置に合わせ、CDを入れる。
ラジオ	音源スイッチを「ラジオ」の位置に合わせ、聞きたい局を受信する。
アラーム	音源スイッチを「テープ」の位置に合わせる。「テープ」にした場合、設定した時刻にアラーム音を鳴らします。

## 3 「時」が点滅するまでめざまし/タイマーボタンを押したままにする。



タイマー



アラーム

## 4 再生を始める時刻を設定する。

- ① ◀▶ ボタンを押して「時」を合わせ、■セットボタンを押す
- ② ◀▶ ボタンを押して「分」を合わせ、■セットボタンを押す

## 5 音量+、-ボタンを押して希望の音量を表示させ、■セットボタンを押す。



音源がアラームの場合、音量の設定を変えても音は一定で変わりません。

## 6 電源ボタンを押す。

電源が切れ予約待機状態になり、「⓪」または「Ⓜ」が表示されます。

予約した時刻になると自動的に再生が始まります。60分後に電源が切れ再び予約待機状態に戻ります。

## 予約した内容を確認したり、変更するには

「時」が点滅するまでめざまし/タイマーボタンを押したままにし、それから■セットボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。

## 予約再生中、途中で止めるには

電源ボタンを押して、電源を切ります。(アラームも止まります。)

## 予約したあとでラジオなどを聞くには

電源を入れれば、通常の操作ができます。電源を切って予約待機状態にする前に、必ず音源スイッチを聞きたい音源の位置に合わせます(手順2)。

(ラジオの場合22ページの手順2で受信した局とは別の局を聞くと、予約した時刻には、その別の局が始まります。)予約した時刻になる前に電源を切ります。

## 予約待機状態を取り消すには

めざまし/タイマーボタンを押して表示窓の「㊦」や「㊧」を消します。

## もう少し眠っていたいとき(スヌーズ機能)

SNOOZE(あと5分)ボタンを押す。

CD、ラジオ、アラームの音がいったん止まり、5分後、自動的に動作します。

スヌーズ機能は、連続して6回まで使えます。

7回目には電源が切れます。

スヌーズ機能を取り消すには、スヌーズ機能が働いているときにめざまし/タイマーボタンを押します。

### ご注意

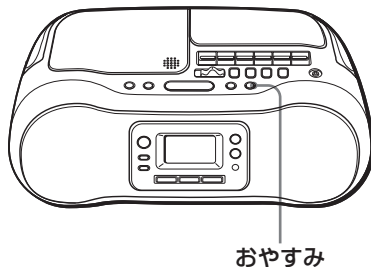
- 故障の原因となりますので、テープのタイマー再生/録音はしないでください。
- アラーム(めざまし)音は5分間続きます。
- タイマー再生の音源を変えたり、タイマー再生からアラームへ、逆にアラームからタイマー再生へと変更することもできます。ただし、電源を切った状態で変更すると、シンボルマーク(㊦)または(㊧)は変わりません。
- 乾電池でお使いのときは、予約時間になっても表示窓の明かりが点灯しません。
- 大きな音量に驚かないように、音量設定をしてください。

### ちょっと一言

予約内容は別の予約をしない限り保持されます。

# 音楽を聞きながら眠る

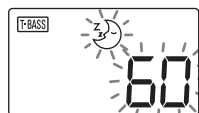
指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。



## 1 聞きたい音楽の演奏を始める。

## 2 おやすみボタンを繰り返し押して、時間(分)を選ぶ。

「60」→「90」→「120」→「OFF」→「10」→「20」→「30」と変わります。



## 残り時間を確認するには

おやすみボタンを1回押します。

## おやすみタイマーを取り消すには

おやすみボタンを繰り返し押して、「OFF」を表示させます。

### ご注意

テープを聞きながらおやすみになるときは片面のテープの長さが設定した時間より長いときは、片面の演奏が終わるまで電源は切れません。

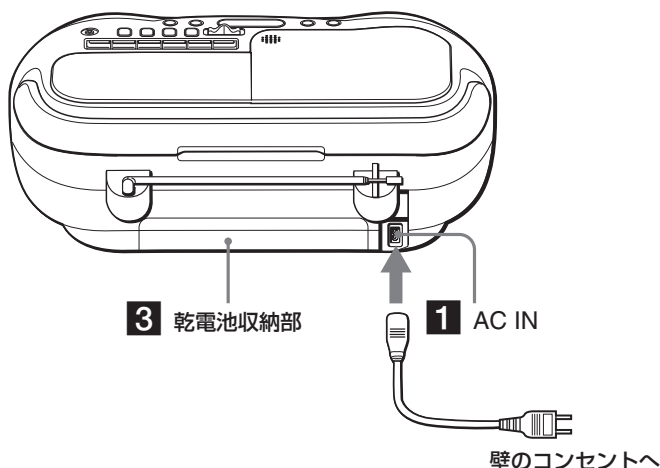
### ちょっと一言

- 目覚ましとスリープ機能で違う音量を設定できます。例えば小さな音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。
- おやすみタイマーが働いているときは、表示窓の明かりが消灯し、「㊦」表示が点灯します。

# 電源を準備する

家庭用電源または、乾電池のいずれかを選んでお使いになれます。

録音するときは、電力消費量が大きいので、家庭用電源でお使いください。

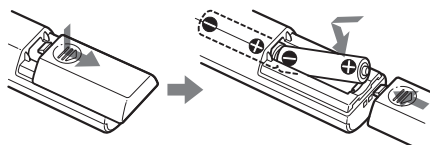


## 1 電源コードを接続する

本機のAC IN端子へ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

## 2 リモコンに乾電池を入れる

リモコン裏面



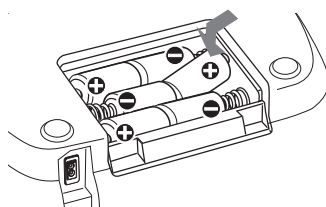
単4形乾電池2個（付属）

## 乾電池の交換について

乾電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。ふつうの使いかたで約6か月もちます。

## 3 乾電池で使う

乾電池でお使いになるときは、本体から電源コードを抜いてください。



単1形乾電池6個（別売り）

## 乾電池の交換について

乾電池のみで使用中、乾電池が消耗してくると電源／電池ランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。乾電池をすべて新しいものと交換してください。



## で注意

- 乾電池を出し入れするときは、CDを取り出して  
おいてください。CDぶたの中でCDがずれて、  
傷つくおそれがあります。
- 乾電池でお使いの場合、リモコンで電源を入れる  
ことはできません。
- 時間やタイマーや記憶させた放送局の情報を守る  
ため、電池の交換は約1時間以内に行ってください。

# 使用上のご注意

## 取り扱いについて

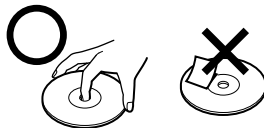
- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気に変化して不具合がおきることがあります。
  - ー 時計
  - ー クレジットカードなどの磁気カード
  - ー カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
 また、本機をテレビの近くには置かないでください。テレビの画像が乱れることがあります。
- カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

## CDについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- CD-R/CD-RWについて  
本機は、CD-DAフォーマット\*で記録されたCD-R(レコーダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。  
\* CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。
- 著作権保護技術付き音楽ディスクについて  
本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。
- DualDiscについて  
DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

## CDの取り扱いかた

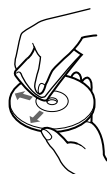
- 文字の書かれていない面(演奏面)に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。

## CDのお手入れのしかた

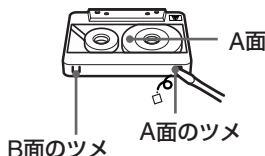
- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

## 大切な録音を守る一誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。



## 長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こまめな走行、停止、早送り、早戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

# 故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは39ページに記載されているアイワお客様ご相談センターへお問い合わせください。

## 共通

症状	チェック項目
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"><li>電源コードをAC IN端子とコンセントにしっかり差し込む。</li><li>乾電池が正しく入っているか確認する。</li><li>乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。</li><li>乾電池でお使いの場合、リモコンで電源を入れることはできません。</li></ul>
電源が入らず「Er」、「bAtt」表示が出る。	<ul style="list-style-type: none"><li>乾電池を正しく入れる。</li></ul>
電源/電池ランプが暗くなる。	<ul style="list-style-type: none"><li>乾電池をすべて新しいものと交換する。</li></ul>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>表示窓に使用したい機能が表示されているか確認する。</li><li>音量を調節する。</li><li>スピーカーで聞くときは、ヘッドホンを○(ヘッドホン)端子から抜く。</li></ul>
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"><li>近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 → 携帯電話などを本機から離して使用する。</li></ul>

その他

## CD部

症状	チェック項目
演奏が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"><li>CDぶたが閉まっていることを確認する。</li><li>乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。</li></ul>
CDが入っているのに「noCd」が表示される。	<ul style="list-style-type: none"><li>CDが裏返し。 → 文字のある面を上にする。</li><li>CDの汚れがひどい。 → クリーニングする。(26ページ)</li><li>レンズに露(水滴)がついている。 → CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。</li><li>CD-R/CD-RWに何も記録されていない。</li><li>ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。</li><li>CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。</li></ul>

[次のページへつづく](#)

## 故障かな?と思ったら(つづき)

### CD部

症状	チェック項目
音がとぶ。 雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"><li>• CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。</li><li>• CDの汚れがひどい。 → クリーニングする。(26ページ)</li><li>• CDに傷がある。 → CDを取り換える。</li><li>• 振動のない場所に置く。</li><li>• CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり雑音が入ることがあります。</li><li>• 著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります(26ページ)。</li></ul>
CDを聞くと、近くのテレビやラジオに雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 本機をテレビやラジオからできるだけ離す。</li></ul>


### ラジオ部

症状	チェック項目
FM受信時、ステレオにならない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• モードボタンを押して、「St」を表示させる。</li><li>• ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。</li></ul>
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"><li>• FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。モードボタンを押して「Mo」を表示させてください。音はモノラルになります。</li><li>• テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。</li><li>• AM放送受信時にリモコンで操作すると雑音が入ることがあります。</li><li>• このラジオ(チューナー)のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。</li><li>• 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。</li></ul>

## テープ部

症状	チェック項目
操作ボタンを押してもテープが動かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カセットぶたをきちんと閉める。</li> </ul>
前の録音が完全に消えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消去ヘッドをクリーニングする。(30ページ)</li> <li>● 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。</li> <li>● TYPE II(ハイポジション)、TYPE IV(メタル)テープを使っている。 → 録音できるテープはTYPE I(ノーマル)のみです。</li> </ul>
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カセットを正しく入れる。</li> <li>● デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。</li> </ul>
雑音が多い。 音質が良くない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。</li> <li>● ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをクリーニングする。(30ページ)</li> <li>● 市販のヘッド消磁器を使ってヘッドを消磁する。(30ページ)</li> </ul>
音が歪む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● TYPE II(ハイポジション)またはTYPE IV(メタル)テープはお使いになれません。TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。</li> </ul>

## タイマー (時計) 部

症状	チェック項目
タイマーが動かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 時計を正しい時刻に合わせる。</li> <li>● 電源コードで使用中、停電があった。</li> <li>● 「④」または表示が出ていることを確認する。</li> </ul>

## リモコン

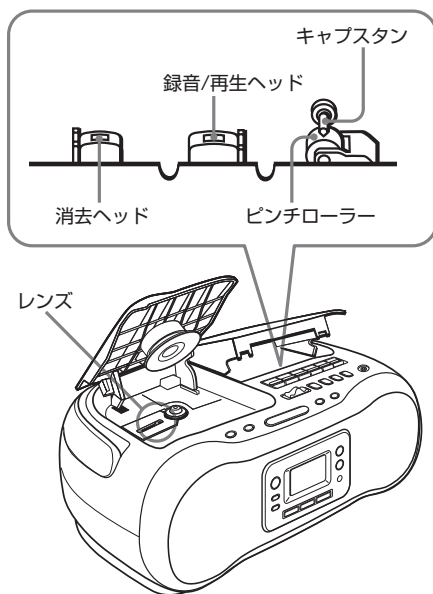
症状	チェック項目
リモコンで操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。(24ページ)</li> <li>● リモコンを本体へ向けて操作する。</li> <li>● 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。</li> <li>● 本体リモコン受光部に強い光(直射日光や高周波点灯の蛍光灯など)が当たっていたら、当たらないようにする。</li> </ul>

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。上記以外で動作が正常でないときは、電源ボタンを押して電源を切った後、約2秒間■セットボタンを押しながら電源ボタンを押します。正しく動く場合があります。それでも正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご連絡ください。

# お手入れ

## ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。よりよい音でステレオ録音、再生を楽しむために、10時間程度使ったら、市販の綿棒とクリーニング液でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。



## 録音/再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、市販のヘッド消磁器を使って録音/再生ヘッドに消磁をしてください。

## キャビネットのクリーニング

本体の表面が汚れたときは、柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「アイワご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口、アイワお客様相談センターにご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社ではCDステレオラジオカセットレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様相談センターにご相談ください。

# 主な仕様

## CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 - 20,000Hz +1/-2dB

## ラジオ部

受信周波数	FM/TV: 76 - 108MHz (1-3 CH) AM: 531 - 1,629kHz
アンテナ	FM/TV: ロッドアンテナ AM: フェラ이트バーアンテナ内蔵

## カセットデッキ部・共通部

トラック方式	4トラック2チャンネル
スピーカー	フルレンジ: 8cm、 コーン型4Ω、2個
早巻き時間	約2分(ソニーカセットテープC-60使用)
周波数範囲	TYPE I(ノーマル)カセット 80 - 10,000Hz(JEITA*)
出力端子	ヘッドホン(ステレオミニジャック)1個 負荷インピーダンス 16 - 68Ω
実用最大出力	2W + 2W(JEITA/4Ω)
電源	本体用: 家庭用電源 (AC100V 50/60Hz) 単1形乾電池6個使用 (DC 9V) リモコン用: 単4形乾電池2個使用 (DC 3V)
消費電力	15W

## 電池持続時間

測定条件	使用乾電池	ソニースーパー	ソニーアルカリ
	R20P	LR20	
テープ再生時** (JEITA)	約7.5時間	約15時間	
FM録音時 (JEITA)	約5.5時間	約13時間	
CD再生時** (JEITA)	約2.5時間	約7時間	

\* JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。

\*\* 音量6分目程度

最大外形寸法	約358 × 152 × 246 mm (幅 × 高さ × 奥行き) (最大突起部含む)(JEITA)
質量	本体 約3.1kg ご使用時 約3.7kg (乾電池、CD、テープ含む)
付属品	リモコン(1) リモコン用単4形乾電池(2) 電源コード(1) 取扱説明書・保証書(1) アイワご相談窓口のご案内(1)

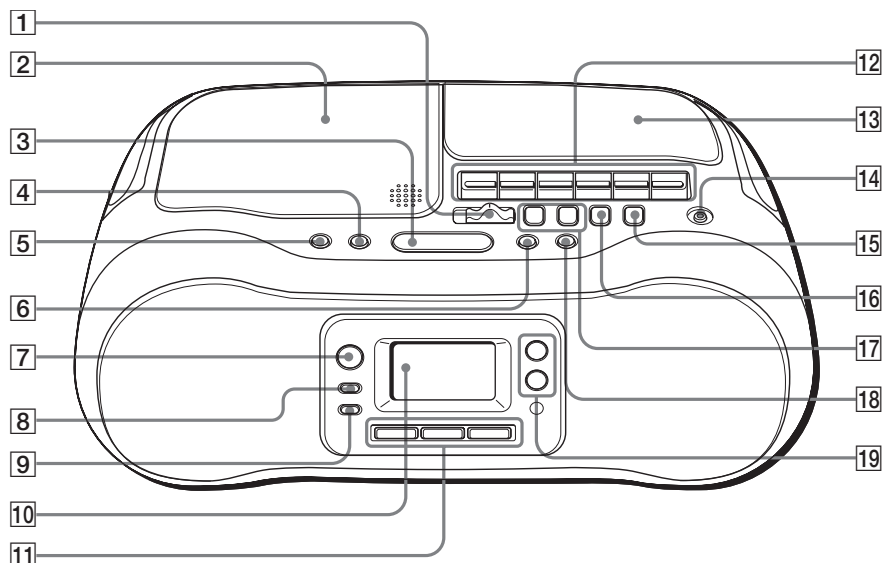
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



# 各部のなまえ

くわしい説明は( )内のページをご覧ください。

## 本体



- 1 音源スイッチ(テープ、ラジオ、CD)  
(8、10、12、14、17～19、22)
- 2 CDぶた(8)  
スヌーズ
- 3 SNOOZEあと5分ボタン (23)
- 4 時計ボタン (21)  
ティーベース
- 5 T-BASSボタン (20)
- 6 めざまし/タイマーボタン (22、23)
- 7 電源ボタン (8～15、22)
- 8 モードボタン (11、15、16、17、21)
- 9 プリセットボタン (18、19)
- 10 表示窓
- 11 マイステーションボタン (19)
- 12 テープ操作ボタン

- 録る (15)
- ▶聞く\* (12)
- ◀もどす (13)
- ▶▶すすめる (13)
- ▲止める/取出す (12～15)
- ||一時停止 (13、15)

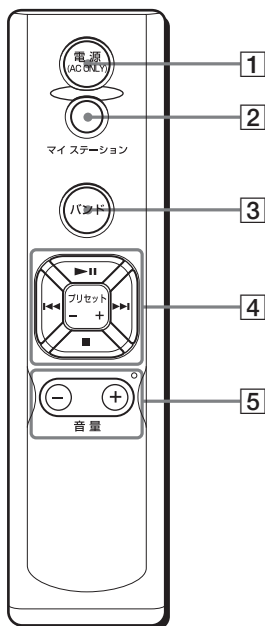
- 13 カセットぶた (12、14)
- 14 ヘッドホン端子 (ステレオミニジャック)
- 15 ▶||CD聞く/一時停止、バンド/オートプリセットボタン\* (9、10、16～19)
- 16 ■止める、セットボタン (9、17、18、21)
- 17 ◀◀もどす/ーボタン (9、10、16、17、21、22)
- ▶▶すすめる/+ボタン (9、10、16、17、21、22)
- 18 おやすみボタン (23)
- 19 音量+\*、-ボタン (9、11、13、22)

\* 凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

次のページへつづく

その他

## リモコン



- 1 電源ボタン (8～15、22)
- 2 マイステーションボタン (19)
- 3 バンドボタン (10、14、18、19、21、22)
- 4 ◀▶プリセット、+ボタン (9、10、16、17、19、21、22)  
▶▶ (聞く/一時停止) ボタン (9、16、17)  
■ (止める、セット) ボタン (9、17、18、21)
- 5 音量+、-ボタン (9、11、13、22)

# 索引

## 五十音順

### ア行

頭出し  
CD 9  
アラーム機能 22  
お手入れ 30

### カ行

乾電池  
本体用 24  
リモコン用 24  
繰り返し聞く 16

### サ行

サーチ 16  
再生する  
CD 8  
テープ 12  
重低音 20  
受信状態を良くする 11  
スヌーズ機能 23  
接続  
電源コード 24

## タ、ナ行

タイマー  
アラーム 22  
スリープ 23  
目覚まし 22  
調節する  
音量 9、11、13、22  
低音 20  
テープ 12  
電源  
家庭用コンセント 24  
乾電池 24  
時計を合わせる 21

## ハ、マ、ヤ行

プログラム演奏 17  
ヘッドの消磁 30  
放送局を記憶させる 18  
マイステーション 19

## ラ、ワ行

ラジオ 10、18  
リピート演奏 16  
録音  
誤消去防止 26  
CD 14  
ラジオ 14

## アルファベット順

T-BASS 20








## アイワ商品の修理、お取り扱い方法、お買い物相談、その他アイワに関するお問い合わせ

### アイワホームページ ●<http://www.jp.aiwa.com/>

アイワホームページは、アイワの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。  
「サポート情報」や「よくあるご質問（FAQ）」に関しては、ホームページをご活用ください。

### アイワお客様ご相談センター

- ナビダイヤル.....0570-00-4680  
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。)
- 携帯電話・PHSでのご利用は.....0466-31-4833  
(ナビダイヤルがご利用にならない場合はこちらをご利用ください。)
- FAX.....0466-31-4250

受付時間：月～金曜日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 \*修理に関するお問い合わせはFAXでもお受けしております。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

保証書

CDステレオラジオカセットレコーダー

CSD-A500

T01-A2-2

◀「お問い合わせ窓口  
のご案内」については、  
裏(39ページ)をご覧ください。

ソニー株式会社  
〒141-0001  
東京都品川区北品川6-7-35

Printed in China